

毎週日曜発行
2019 1/13

こども新聞 週刊がほピョンプレス



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

亥年のシンボル、イノシシってどんな生き物な
んだらう? かほピョンは仙台市八木山動物公園
に行き、飼育員さんに話を聞いたよ。

生態

教えてくれたのは、イ
ノシシの飼育を担当して
4年だという八巻明彦さ
ん(60)。「イノシシの寿
命はだいたい15〜20年
で、野生のものは10年ほ
ど。虫や木の根、どんぐ
りなどの木の実のほか、
ザリガニなども食べる雑
食動物です」



②

北海道と豪雪地帯を除
く日本全国の山林、里山
に生息し、体長は大きい
もので1300〜1500
センチ。体重は1000キを越
えます。イノシシは嗅
覚がとても鋭く、土の
中にある食べ物をにお
いで見つけ、鼻先で掘って
食べます。力はとても強
く、70キぐらいの物を鼻
で動かすことができますの
だそう。目はあまりよく
なくて、視力は0.1
程度しかありません。



動物公園にもイノシシ
が1匹います。7歳のオ
ス、ゲンイチロウです。
人間でいうと20歳ぐらい
の若者ですが、他のイノ

におい頼りに食べ物探し



上は二ホンイノシシのゲンイチロウ。今年は仲間も増えるので、楽しみですね。下のうり坊は動物公園内のビジターセンターのはく製です

シシ同様に性格は臆病。
6年前に仙台市内で保護
されました。
体の縦じまがマクワウ
リに似ていることから、
うり坊と呼ばれるイノシ
シの赤ちゃん。縦じまは
何のためか聞いてみる
と「赤ちゃんはほかの野
生動物に襲われやすいの
で、山林が目立たないよ
うにし模様が入ってい
るんですよ」とのこと。

最近、里山で農作物
を荒らすなどして、悪者
になってしまっている
イノシシ。八巻さんは
「イノシシは開けた場所
を嫌います。このためや
ぶに沿って移動すること
が多く、えさ場として真
先に狙われるのは山林
内ややぶに面した農地で

す。野菜くずの捨て場な
どは大喜びでえさ場に
します。イノシシが好む環
境を排除することも大
事な対策の一つです」と
言います。イノシシと共
生していくための対策
を、私たち人間も考えな
なくてはいいけませんね。

今年、動物公園では、
仙台市内で保護された若
いオスのイノシシがデビ
ュー予定なんだって。か
ほピョンも見に行こう。

今週の注目ニュース

◇16日(水) 歌会始の儀(皇居・宮殿)
今年のお題「光」をテーマに天皇、皇后両陛下や
皇族方と、応募者から選ばれた人たちの和歌が披露さ
れる新年恒例の行事。最年少入選者は、山梨県立甲府
西高校1年の加賀爪あみさんです。

◇17日(木) 阪神大震災から24年
犠牲者6434人を追悼する行事が兵庫県などで開か
れます。「1・17のつどい」実行委員会は、神戸の会
場からインターネット中継し、初めて東京で追悼行
事をします。

きょうの紙面

2 イマ★どき

3 3分チャレンジ

4・5 いいね

小学校

6 英語

7 かほくワークシート

8 投稿特集